

【和泉市 報道提供】

令和 7 年 4 月 18 日

セネガル共和国が大阪・関西万博を通じて和泉市（大阪府）との交流を深める

～セネガル産業・通商大臣が産業分野でのパートナーシップに意欲～

令和 7 年 4 月 15 日、セネガル共和国のジョップ産業・通商大臣ら 10 名が和泉市役所を訪問、辻市長らと対談、市内の工業団地であるテクノステージ和泉などを視察した。同国大臣クラスの和泉市への訪問は初。

【経緯】

和泉市が 2020 東京オリンピックでセネガル共和国のホストタウンを務めたことがきっかけで関係が続いており、昨年からは内閣官房の「万博国際交流プログラム」を活用しての取組が行われている。昨年は大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーの中島さち子氏を招いて市内小学校でのワークショップのほか音楽交流イベントを実施。今年 1 月には辻市長ら公式訪問団がセネガル共和国を訪問、ジョップ大臣、ガイ青少年・スポーツ・文化大臣などと対談している。

【目的】

セネガル共和国にも既に産業団地はあるが、より産業の中心となるまちづくりを計画するにあたり、参考とするため、ホストタウンであり、かつ多様な企業が集積する産業拠点「テクノステージ和泉」をもつ和泉市への視察を希望された。

また、和泉市久保惣記念美術館を観覧、同美術館では「25 UKIYO E EXPO in IZUMI」として 1 年を通して所蔵する浮世絵を展示する計画。観覧したセネガル共和国訪問団は浮世絵に関心を寄せた。

【和泉市長コメント】

この訪問を通じて、私たちの市が持つ産業と文化が、地域の発展にどれほど寄与しているかを再確認した。また、大臣との意見交換を通じて、国際的な視点から見た私たちの取り組みについても考える良い機会となった。今後も、このような国際的な交流を大切にしながら、地域の発展に努めたい。

【セネガル ジョップ産業・通商大臣のコメント】

「辻市長と初めて会って以降、和泉市がどんな街なのか早く見たかった。産業分野でもパートナーシップがもてればいい。」と市内企業との関係に意欲をにじませた。

【今後の交流】

7月24日に大阪・関西万博会場内、中島さち子氏プロデュースのクラゲ館でセネガル共和国の方々と和泉市のこども達が音楽交流ステージの共演を計画しており、和泉市では近く参加するこどもを募集する。7月26日にも和泉シティプラザ弥生の風ホールでの音楽交流ステージ、秋にはサッカー交流など取組が計画されている。

問合せ先：生涯学習推進室スポーツ振興担当

電話番号 0725-99-8162